

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	農業集落排水整備事業		
事業担当	土木部 下水道整備課		
事業種類	ハード ソフト		
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'02	住みごこち 人にやさしい居住空間をつくる	
	'02	2 身近な生活環境を充実する	
根拠法令等	地域再生法		
対象・受益者	市民	事業期間	~ 平成27年度
委託・協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
	目的・目標		事業の概要
農業集落排水区域内市民の、水洗化による衛生的な生活環境の向上が図れています。		河川の水質保全や公衆衛生の向上のため、西部丘陵地域（土屋・吉沢地区）の下水道（汚水）を整備します。	

2. 事業の検証

活動指標	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
活動指標	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
成果指標	指標名	集落排水進捗率				単位	%
	説明・算定式	整備が完了した延長 ÷ 全体延長36,465m × 100					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	74.8	82.4	95.5	100		
	実績	77.3	86.1	96.8			
成果指標	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	: 予定どおり						
	遅れている理由						
平成26年度の主な取組と成果							
管路を3,883m(土屋地区1,498m、吉沢地区2,385m)整備しました。							
平成26年度の検証結果	A : 成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	農村地域における資源循環の推進を図りつつ農業用排水の水質保全により農村の生活環境の改善を図ります。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	農業集落における生活排水を処理する施設を設置することにより県条例に定める水質を確保できます。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	地域再生法に基づく交付金(5/10)とともに県補助金(1/10)を受け、整備費の一部を受益者から徴収します。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	経済性や事業効果等を検討し、合併処理浄化槽事業との整合を図ります。	高中低
今後に向けた課題の分析				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		管渠築造工事、資源循環施設	管渠築造工事、資源循環施設整備	管渠築造工事	管渠築造工事
財源内訳	国庫支出金	165,820	225,000	128,450	10,000
	県支出金	33,164	45,000	25,690	2,000
	起債	126,700	251,600	292,800	95,700
	その他 特財	31,575	55,329	27,398	6,300
	一般財源	128,000	11,789	10,881	0
事業費 (A)		485,259	588,718	485,219	114,000
執行率 (%)		72.28	67.87	74.77	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
課長コメント